

障害児者リハビリテーションセンターのサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 2者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

応募条件について
①専門的な施設のため、専門家の人員確保が難しい。人員体制の整備について、県からの派遣が得られるのかによって参入できる事業者は限られる。
情報提供について
①現在の施設の収益性、赤字が出た場合の補填対応の有無などの情報があればよい。
②患者の見込み数や紹介ルートなどが明示されているとよい。
公募期間について
①要項の内容が明確であれば、2ヶ月で対応可。
②人材が充実しているところなら2ヶ月でも充分だと思うが、新たに人員補充をしなければならない場合ではもう少し長い方がよい。ただ、専門的な施設のため、ノウハウがあり専門人員が充実しているところしか手が挙がらないと思われるので、それを踏まえると2ヶ月で充分かもしれない。
指定管理期間について
①専門的な施設のため、よほど大きな事業者でなければ、人の採用を伴う。このため、10年など長期の方が対応しやすいのではないか。
自主事業について
①現在の診療・リハビリは最低限の設備で対応可能なこと、スペース的な制約のある商業施設内にあることから、設備整備が必要な事業は難しい。利用者がワンストップで福祉サービスを受けられるよう、専門員を配置して相談業務を行うなどであれば出来るかもしれない。

担当者：健康福祉部障害福祉局障害福祉課
寺尾

TEL：078-341-9497

メール：Kasumi_Terao@pref.hyogo.lg.jp